
未来より（後篇）

泰然寺 寂

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

未来より（後篇）

【Nコード】

N4933S

【作者名】

泰然寺 寂

【あらすじ】

千文字もない話に粗筋もあつたもんじゃない。かもしれない。

あなたは神懸かり的な一瞬を待っている。街で一番高い鐘楼の上で、曇ることなき蒼穹を一心不乱に見つめている。その目は空と同様に曇りの欠片など無く水盤のロゴスが満ちている。

今、成層圏に突入した太古の人工衛星が燃え尽きた。夕暮れを集めた朱が尾を引いて群青のキャンバスに一筋の無意味な線を引く。しかしあなたが朱の正体を知ることはない。鐘楼を基点に二七〇度の中心角を為す扇形をした、広がりゆくはマントルの方ばかりの街で、衛星など一般人が知るところではない。ましてや他の街があるということは今やおとぎ話や神話の中で、教訓の中にしか生きない他人など、これっぽっちも現実感が伴わない。

しかしあなたは禁じられた本能の内、衛星の存在を知っている。理性の檻と知性の枷で内に深く深く食い込み血が滲んだ心で知っている。

神懸かり的な一瞬を眼にしたあなたは鐘楼を降りる。街とは違い完全な円形の鐘楼。外周に沿って螺旋状に巡る階段は根源的な人間の相似形で、一つ欠けてしまった人間をあなたは毎日昇降する。もしかすると、とあなたは思う。もしかすると欠けた円状の街を補える他の街があるのではないかと。

それは素晴らしい考えであるようにあなたには思われた。他の街にいる他の人間は、地の内側に沈む協会が定めし理性の外側にいるのではないだろうか。もしかするとその人たちは決まり切った行動をとらず、祈りもせず暮しているのではないだろうか。彼らはきつとここより狭い街の中で、ここより広い何かを持っているのではないかと。勿論それは言葉にすることもかなわず、あなたはただ漠然とした思考の海を、底まで見通すかのように見つめた。

鐘楼から降りたあなたはここが檻だと感じる。実際に檻であると思えるのではない。檻であるという概念をあなたは持っていない。

あるべくしてある誰かが精巧に作り上げた、七色の硝子細工として存在する現実には、本当を美しく彩って嘘にする。のっぺりとした建物は正確に作り上げられた直方体。汚れを自ずから雪ぐそれは、一つの区画として異端を認めない。

あなたは帰る。街の中へ。しかしそれは、整然とした一つのサイクルで、明日も鐘楼へ登ることが確約されているも同然だった。幾度となく繰り返してきたそれは、過去と同じくいつ果てると無く繰り返されるだろう。あなたが死してなお無数の繰り返しの一つとして誰かが継ぐかも知れない。ただ一つの例外が現れることを信じて。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4933s/>

未来より（後篇）

2011年10月4日23時25分発行